

# 関西学院大学 2027 年度 大学院入学試験要項

## 言語コミュニケーション文化研究科 博士課程前期課程

### (学内推薦入学試験)

#### アドミッション・ポリシー

言語コミュニケーション文化研究科は、高度な言語コミュニケーション能力を備え、建学の精神に基づく豊かな人間性と国際的視野をもった、高度の学問的専門性を備えた人材を輩出し、社会に貢献することを理念としています。その理念を実現するために、前期課程では次のような人材を求め、入学試験要項に定める試験科目を設定し、入学者選抜を行います。

- ・高度なコミュニケーション能力を身に付け、研究やビジネスにおいて国際的に活躍したいと考えている人
- ・異文化理解をベースとしたグローバルな視野を持ちたいと考えている人
- ・国際的に活躍できる英語および日本語教員を目指している人
- ・言語の実態を研究する言語科学、各言語（英語、フランス語、ドイツ語、中国語など）の背景にある文化を研究する言語文化学、実践的な言語教育方法を探求する言語教育学、外国語としての日本語教育を探求する日本語教育学の研究をしたいと考えている人

#### 博士課程前期課程入学試験

##### I. 課程・専攻・募集人員

課程	専攻	入学定員 <sup>※1</sup>	募集人員 <sup>※2</sup>
博士課程前期課程	言語コミュニケーション文化	30名	若干名

※ 入学定員とは、本研究科における一学年の定員を指します。

※ 募集人員とは、本入試制度（学内推薦入学試験）において募集する人数を指します。

##### II. 出願期間・試験日・合格発表日

	出願期間 <sup>※1</sup>	試験日	合格発表日 <sup>※2</sup>
第1次	2026年7月27日(月)～8月3日(月)15:00	9月12日(土)	9月17日(木)9:00
第2次	2026年10月21日(水)～10月28日(水)15:00	11月21日(土)	11月26日(木)9:00

※1 出願最終日の出願受付は15:00までです。

※2 合格発表は、本研究科事務室前に掲示をするとともに、志願票に記載の住所・氏名宛に合否通知を速達で郵送します。また、合否に関する電話での問い合わせには、一切応じません。

##### III. 出願資格

本学を2027年3月卒業見込みであり、次の各項のいずれかに該当する者。

- (1)出願時点までに、修得したすべての科目の平均点が80点以上である者。
- (2)出願時点までに、修得したすべての言語教育科目<sup>※</sup>の平均点が80点以上、かつ修得したすべての科目の平均点が78点以上である者。

※法学部開講科目の場合は言語科目とします。

- (3)複数分野専攻制の「英語コミュニケーション文化副専攻プログラム」を履修している者。

- (4)在学中に、協定大学に交換留学、もしくは国連ユースボランティアまたは中期グローバル・キャリア PBL に参加した者。

#### IV. 出願手続

##### 1. 出願方法

出願期間内に、入学検定料を納入の上、出願書類を本研究科へ郵送（出願最終日は 15:00 まで必着）または持参してください。

##### (1) 入学検定料の納入

入学検定料：25,000 円

<金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行は不可)の窓口での納入>

「電信扱」で納入してください。納入後、(B)(C)票に金融機関の出納印があることを確認してください。現金自動預払機(ATM)及びインターネットバンキングからの振込みは受け付けません。(A)票に記載の金融機関の本・支店から振込む場合は手数料は不要です。取扱金融機関の出納印をもって、関西学院の領収とみなします。納入締切日の出納印まで有効です。なお、金融機関により出納日付の取り扱いが異なりますので、締切間近に納入される場合には、事前に金融機関にご確認ください。また、(B)票は領収書です。本人が大切に保管してください。

(注意事項)

- ・ 身体に障がいがあり、受験および入学後の就学に際して特別の配慮を必要とする志願者は出願する入学試験の出願期間開始日の1カ月前までに本研究科に申し出てください。
- ・ 入学後、健康診断を行いますので、出願時または入学手続時に健康診断書を提出する必要はありません。
- ・ 一度納入した入学検定料および提出書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ・ 出願手続について疑問がある場合は、本研究科事務室まで問い合わせてください。

##### (2) 出願書類の提出

<郵送の場合>

簡易書留郵便にて、後掲『問い合わせ』に記載の住所を確認の上、本研究科事務室まで、出願期間内に必着（出願最終日は 15:00 まで必着）するよう送付してください。なお、封筒のおもてに「言語コミュニケーション文化研究科前期課程 学内推薦入学願書在中」と朱書きしてください。

<持参の場合>

受付時間を確認の上、出願期間内に、本研究科事務室まで、持参してください。

受付時間：平日 9:30～11:30 および 12:30～15:00

※土曜日・日曜日・祝日は閉室。

## 2. 出願書類

(注意事項)

- ・出願書類の記載事項が事実と異なる場合、不正がある場合は、受験および入学の資格を取り消します。
- ・指定された出願書類以外の書類を提出された場合にも、選考には使用できません。

①入学願書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入学検定料を納入の上、(C)～(E)票を提出してください。</li> <li>・ 後掲の『◆志望領域・プログラムと志望コースの選択』を参照の上、志望する領域・プログラムと志望するコースをそれぞれ選び、○で囲んでください。言語文化学、日本語教育学領域は修士論文コースのみです。出願後の変更はできません。</li> <li>・ (D)票に記載された住所へ受験票を送付しますので、必ず受け取りのできる住所を記入してください。</li> </ul>
②演習担当教員志望書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後掲の『◆志望する演習担当教員の選択』を参照の上、演習科目担当教員を必ず3名選び、所定欄に記入してください。</li> </ul>
③成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関西学院大学作成のもの(原本)を提出してください。</li> </ul>
④卒業(見込)証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関西学院大学作成のもの(原本)を提出してください。ただし、成績証明書に卒業(見込)年月日の記載があれば不要です。</li> </ul>
⑤学歴・職歴・資格一覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本研究科所定用紙に本人が日本語で入力してください。パソコン等で直接 Word ファイルに入力の上、出力したものを提出してください。ただし、何らかの事情によりパソコン等で入力できない場合には、手書きでの提出でも可とします。</li> </ul>
⑥研究計画書	
⑦その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在留カードのコピー (A4 サイズの用紙) 在留カードをお持ちの方は全員提出してください。外国人留学生で在留カードをお持ちでない方は、パスポート(氏名及び在留資格・在留期間が記載されている頁)のコピーを提出してください。</li> <li>・ 日本語運用能力に関する調査 外国人留学生のみ提出。本研究科所定用紙に本人が日本語で記入してください。また、日本語能力試験、日本留学試験等を受験したことがある者は、そのスコア表のコピー (A4 サイズの用紙) も提出してください。</li> <li>・ 協定大学に交換留学し、出願資格(4)によって出願する者は、留学先大学が発行した成績証明書。ただし、ドイツ語圏の協定大学への留学生については、留学期間中にZDの取得に相当するレベルに達したことを証明する書類も添付すること。</li> </ul>

### ◆ 志望領域・プログラムと志望コースの選択

研究科パンフレット等を参照し、以下の表に従って入学願書(C)票および研究計画書に記入してください。

領域・プログラム コース	言語科学	言語文化学			言語教育学	日本語教育学*	
	言語科学	地域文化研究	多言語多文化学際	映像演劇文化	言語教育学	プロフェッショナル	アカデミック
修士論文コース	○	○	○	○	○	○	○
課題研究コース	○	—	—	—	○	—	—

※ 実習科目が必修である「プロフェッショナルプログラム」と実習科目を履修しない「アカデミック」

クプログラム」は、入学試験出願時に本人が申請する。ただし、入学時に教育機関での日本語教育経験が3年未満の者は、「アカデミックプログラム」は選択できない。

(注意事項)

- ・ 出願後の領域・プログラムの変更は、一切認めません。
- ・ 修士論文コースは、夜間のみ履修では修了できません（平日昼間に必修科目が配置されるため）ので、入学後の就業状況を十分に考慮の上、コースを選択してください。また、受験後のコース変更は、一切認めません。

#### ◆ 志望する演習担当教員の選択

コースの選択によって、下表のとおり、入学後に履修する必修の演習科目が決まります。

	修士論文コース	課題研究コース
演習科目名（必修）	研究演習I・研究演習II	課題研究

2つのコースとも、演習担当教員志望書に志望する教員を必ず3名選んで記入してください（1名ないし2名のみ記載しかない場合または一覧に記載のない教員の氏名を記載した場合は、出願を受理できません）。ただし、日本語教育学領域以外を志望する受験生は、下線を引いた教員を記入することはできません。志望順を明示したい場合は、教員氏名の左横に丸数字（①等）を記入してください。なお、志望順どおりに演習科目担当教員が決定するわけではなく、演習科目担当教員を決定する際の参考とします。演習担当教員名は、本研究科で本人の志望と研究テーマを考慮の上、指導教員名と併せて3月中旬に決定・通知します。原則、入学時に決定した演習担当教員、指導教員の変更は認められません（教員の留学等により、演習担当者、指導教員が変わることはあります）ので、演習担当教員志望書の記入にあたっては、研究内容、研究計画に沿って慎重に検討をしてください。

(注意事項)

- ・ 演習科目担当予定教員は、要項公開後に変更が生じる可能性があります。変更が生じた場合は、本研究科ホームページ内「入試情報（入試情報ページへ）>言コミ 入試要項等」でお知らせしますので、演習担当教員志望書の「志望する演習担当教員」欄の記入に際しては、必ず変更の有無をご確認ください。
- ・ 本研究科所属教員との出願前のコンタクトを希望する場合は、出願する入学試験の出願期間開始日の1週間前までに、本研究科事務室まで問い合わせてください（必ずしも、教員とのコンタクトをお約束するものではございません）。事前相談は、研究分野及び研究科との親和性をご確認いただくために実施します。事前相談の内容が合否に影響することはありません。
- ・ 演習担当教員と指導教員が異なる場合があります。その場合、実際の研究に関する相談・助言・指導は演習担当教員が行います。
- ・ 課題研究コースでは、アドバイザー・コミッティが構成され、「課題研究」担当教員と他の教員2名の合計3名の教員が課題研究に関する相談・助言・指導にあたります。

## 2027 年度入学生の演習科目担当予定教員

領域	教員氏名（五十音順）
言語科学	石川 圭一、茨木 正志郎、内田 充美、オストハイダ テーヤ、住吉 誠、 田中 裕幸、谷 明信、田 禾、中野 陽子、山田 一美
言語文化学	伊藤 正範、岩松 正洋、上田 和彦、大東 和重、小笠原 亜衣、 島貫 香代子、谷口 真紀、趙 怡、塚田 幸光、中川 慎二、西村 正男、 藤野 真子、松宮 園子、宮原 一成、森田 由利子、 ハンス ペーター リーダーバッハ
言語教育学	石川 圭一、氏木 道人、住 政二郎、趙 怡、寺沢 拓敬、中川 慎二、 中野 陽子
日本語教育学	オストハイダ テーヤ、田中 裕幸、田 禾、中野 陽子、西村 正男、 長谷川 哲子、森本 郁代

※教員の研究内容・研究領域等は研究科パンフレット、研究科ホームページ、研究者データベース (<http://researchers.kwansei.ac.jp/>) 等の資料を参照してください。

## V. 試験時間・試験内容・試験場（第1次、第2次共通事項）

試験時間	試験内容	試験場
9:00～※ <sup>1</sup>	口述試験	西宮上ヶ原キャンパス（詳細は受験票※ <sup>2</sup> にて通知）

※<sup>1</sup> 口述試験の開始時間は志願者によって異なります。

※<sup>2</sup> 受験票は試験日の約1週間前に発送します。

### 1. 口述試験

口述試験は、研究計画書について行います。

※ 必要に応じて研究対象言語の運用能力を確認することもあります。

（注意事項）

- ・ 口述試験の結果をもとに合否を判定します。
- ・ 受験票は必ず携行してください。紛失や当日忘れた場合は本研究科事務室まで申し出てください。
- ・ 携帯電話を時計として試験中に使用することはできません。
- ・ 口述試験は、指定された集合時刻までに受験者控室に入室・着席しておいてください。指定された集合時刻から15分以上遅刻した場合は受験することができません。
- ・ 不正行為者は全試験を無効とします。

## 不正行為への対応

出願から入学手続き完了までの一連の過程において不正行為が認められた場合、当該年度におけるすべての入学試験の受験資格および入学資格を無効とします。

## 言語科学・言語文化学・言語教育学のいずれかを受験する方への注意

ネイティブ教員による英語の言語コミュニケーション能力養成科目の授業では、TOEFL ITP®TEST 500 点(iBT 61 点)または TOEIC®Listening & Reading Test (TOEIC®Listening & Reading IP Test 含む)600 点程度のレベルが要求されます。従って、ある程度の英語の運用能力のない方は、この科目の修得に無理が生じる場合があります。

## 入学手続

合格者は所定期間内に入学手続（ⅠおよびⅡ）を完了してください。

### 1. 入学手続Ⅰ<入学金の納入>

所定用紙を用い、入学金を下記期間内に金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行は不可）の窓口で納入してください。

第1次	2026年9月17日(木)～9月29日(火)
第2次	2026年11月26日(木)～12月3日(木)

<金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行は不可)の窓口での納入について>

「電信扱」で納入してください。振込依頼書に記載の金融機関の本・支店から振込む場合は手数料は不要です。取扱金融機関の出納印をもって、関西学院の領収とみなします。納入締切日の出納印まで有効です。なお、金融機関により出納日付の取り扱いが異なりますので、締切間近に納入される場合には、事前に金融機関にご確認ください。現金自動預払機（ATM）及びインターネットバンキングからの振込みは受け付けません。

### 2. 入学手続Ⅱ<学費・その他の諸費の納入および書類の提出>

以下の①および②を完了してください。関係書類については、学内推薦入試の入学手続Ⅰ完了者には2027年2月下旬に本研究科より送付します。

#### ① 学費・その他の諸費の納入

上記「1. 入学手続Ⅰ」同様、金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行は不可）の窓口で納入してください。納入方法は上記「1. 入学手続Ⅰ」と同様です。なお、納入締切日は、2027年3月12日(金)です。

#### ② 書類の提出

次の書類を2027年3月12日(金)15:00までに、本研究科に提出してください。郵送する場合は期間内に必着するよう送付してください。

イ. 「住民票記載事項証明書」(市区町村発行 本学に入学する者の氏名、住所、生年月日、性別の証明のあるもの。「住民票の写し」でも可。外国人の場合は前述に加え、国籍、在留資格、在留期限の証明のあるもの。)

ロ. 「学生証顔写真貼付台紙」(本学所定用紙)

ハ. その他(合格通知に同封する「入学手続のご案内」に記載されている提出書類)

### 3. 入学式

2027年4月1日(木)10:00(予定) 西宮上ヶ原キャンパス

(注意事項)

- ・ 入学手続期間（ⅠおよびⅡ）内に所定の手続を完了しない場合は、入学の意思がないものとみなし、入学許可を取り消します。
- ・ 一度納入した入学金は返還いたしません。
- ・ 提出書類は返還しません。
- ・ 本研究科の事務取扱時間は、平日 8:50 から 16:50（11:30 から 12:30 は除く）です。

**問い合わせ**

言語コミュニケーション文化研究科事務室（所在地：関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス G 号館 1 階）

住所	電話番号	ホームページ URL
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155	0798-54-6180	<a href="https://www.kwansei.ac.jp/g_language/">https://www.kwansei.ac.jp/g_language/</a>

以上